

平成28年8月17日

出雲市議会
議長 長廻 利行 様

出雲市認可保育所（園）保護者会連合会
会長 伊藤 芳人

任意予防接種費用（インフルエンザ、おたふくかぜ、ロタウイルス）の助成を求める陳情

【陳情項目】

任意予防接種費用（インフルエンザ、おたふくかぜ、ロタウイルス）の助成をお願いします。

【陳情内容】

子どもたちの病気を事前に予防するため、各医療機関において、さまざまな予防接種が実施されておりますが、その中には対象年齢期間内に無料で受けられる定期予防接種と自己負担によって受けることのできる任意予防接種があります。定期予防接種が無料で受けられることは、保護者としましても大変感謝しているところです。

しかし、任意予防接種の対象となる病気の中にはインフルエンザ、おたふくかぜ及びロタウイルスのように発病すると重症化したり、完治するまでに長期間かかるものもあります。しかしながら、任意予防接種は保険適用外であるため、接種する病院によって費用も異なり、また、金額も高額であることから保護者によっては接種を諦めるケースも少なくありません。特にインフルエンザは、毎年予防接種を受ける必要があるため、経済的負担も大きいと考えます。

今回実施しました保護者に対するアンケートにおきましても、どれも感染性の強い病気であることなどから費用の無料化又は助成を実施してほしいとの声が多数聞かれました。

鳥根県内では浜田市がおたふくかぜの一部助成を、鳥取県内では琴浦町並びに日吉津村がインフルエンザ、おたふくかぜ及びロタウイルスの一部助成を行われております。また、県外においても助成制度が実施されている市町村は多数存在します。

保護者にとって子育てにおける子どもの健康維持や、それに伴う経済的負担の問題はとても重要なことであり、これらの支援は安心して子どもを産み、育て、働くことのできる環境を整える上で大きな意義があるものと考えます。

また、無料化又は助成をしていただくことにより、さらなる利用者の拡大も期待でき、発病、感染拡大の防止、そして、保護者が仕事を休んで看護しなければいけないことへの負担軽減にもつながります。乳幼児医療費の助成を行っている出雲市にとっても、医療機関への利用が減るため、助成費の軽減が図れるのではないのでしょうか。

つきましては、何とぞ趣旨をご理解いただき、この出雲市において、子どもたちが豊かな愛情に包まれながら、夢と希望をもって未来の担い手として、個性豊かに、たくましく育っていけるような環境作りを実現するため、上記陳情の採択をお願いいたします。

平成28年8月17日

出雲市議会
議長 長廻 利行 様

出雲市認可保育所（園）保護者会連合会
会長 伊藤 芳人

子どもの保育料の負担軽減を求める陳情

【陳情項目】

第3子保育料の無料化、同時入所にかかわらず第2子保育料の半額化及び第1子を含めた保育料負担軽減並びに短期保育時間の保育料減額をお願いします。

○【陳情内容】

第3子保育料の無料化、同時入所にかかわらず第2子保育料の半額化及び第1子を含めた保育料負担軽減につきまして、昨年度の陳情で趣旨採択をいただきましたことは、当連合会としても進展の第一歩と考えますと共に、誠に感謝しております。

近年、我が国において出生率の低下が社会的問題となっている中、この問題は島根県においても急速に起こると予想されています。昔から子に過ぎたる宝なしと言われ、子どもたちは、この国や県、そして我が出雲市の将来を担う掛け替えのない人材であります。それにもかかわらず、出生率の低下を招いている要因の一つとしては、やはり子育てにかかる費用負担の問題が大きいと言われます。

昨今の経済情勢や社会情勢、また物価上昇に伴う負担増により、余裕のある子育て環境には程遠く、子どもを増やしたくても子育てにかかる費用負担を考えると諦めてしまうとの声を耳にします。出雲市においては、第一子でも現在の保育料が国が定める基準額よりも軽減されていることは感謝しているところではありますが、それでもなお負担を感じている保護者は多いのが実情です。

私ども連合会において本年度も実施しました保護者に対するアンケートにおきましても、「第3子以降の保育料無料化が継続されると思えば第3子を出産したが、無料化廃止により子育てをする上で経済的負担が大きい」、「第1子の保育料の基準額も高いのに、これからの将来、第2子、第3子を考えて出産することへの不安などから出雲市の子育て支援制度への信頼を失った」との意見も聞かれます。

一方、島根県内では、雲南市、川本町及び美郷町などで18歳未満の多子世帯軽減制度として第3子完全無料化を実施されております。出雲市との規模の差はありますが、本来、子育てをする上で環境の差はあってはならないことであると考えます。

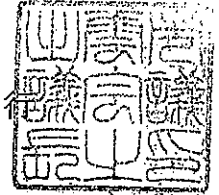
また、平成27年4月にスタートした子育て支援制度においては、標準保育時間（1日に最大11時間の保育利用可能）と短期保育時間（1日に最大8時間の保育利用可能）に区分されておりますが、保育料を比べますと、数百円の差しかありません。フルタイムとパートタイムの就労では収入の差があるにもかかわらず、標準保育時間の保育料とあまり変わらない現状であるため、子育て環境の格差を生む原因となっているのではないのでしょうか。

つきましては、何とぞ趣旨をご理解いただき、いきいきこどもプランの基本理念でもある「子育てに喜びを実感できる社会の実現」のため、上記陳情の採択をお願いいたします。

議 会 第 4 2 9 号
平成28年(2016)9月30日

出雲市認可保育所(園)保護者会連合会
会長 伊藤 芳人 様

出雲市議会議長 長 廻 利



陳情の審議結果について (お知らせ)

平成28年(2016)8月17日付けで提出がありました下記陳情は、平成28年度(2016)9月定例市議会において審議の結果、趣旨採択 になりましたのでお知らせいたします。

記

件 名 任意予防接種費用(インフルエンザ、おたふくかぜ、ロタウイルス)の助成を求める陳情

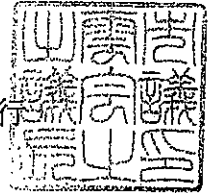
【審議結果理由】

感染症の流行を防ぐには、社会全体として一定の免疫水準を確保することが必要であり、地方自治体が独自に接種率を向上させても、その有効性が十分に担保されないため、接種の安全性も含め、国の責任において定期予防接種化の決定がなされるべきである。

議 会 第 4 2 9 号
平成28年(2016)9月30日

出雲市認可保育所(園)保護者会連合会
会長 伊藤 芳人 様

出雲市議会議長 長 廻 利 行



陳情の審議結果について (お知らせ)

平成28年(2016)8月17日付けで提出がありました下記陳情は、平成28年度(2016)9月定例市議会において審議の結果、採 択 になりましたのでお知らせいたします。

記

件 名 子どもの保育料の負担軽減を求める陳情